

謹んで新春のお慶びを申し上げます

新冠町長 小竹 國昭



町民のみなさん、新年明けましておめでとうござい
ます。

みなさんにおかれましては、心新たに輝かしい平成
25年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げますと
もに、目ごろより町行政に対するあたたかいご支援と
ご協力に対し、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年のわが国を振り返りますと、長引く景気
低迷に加え、東日本大震災からの復旧・復興、原発と
エネルギー問題、TPPへの対応や領土問題など、
待ったなしに解決すべき多くの問題を抱える中、政治
に対する国民の期待や信頼が著しく低下した年だった
ように思われます。

このような中、7月・8月に行われたロンドンオリ
ンピックにおいて、日本選手団の活躍は目覚ましいもの
があり、日本のメダル獲得数は過去最高を記録するな
ど、日本国中が明るい話題につつまれました。

当町においては、黒毛和牛の生産・経営の核となる
「和牛センター」が4月に稼働したほか、企業誘致事業
として推進しておりました「日高食肉センター」も、
平成26年春の操業に向け建設工事が着手されたのをは
じめ、東日本大震災を教訓として、防災・減災のため
に必要な避難計画や施設・設備の整備、快適な住環境や
地球温暖化対策を個人・家庭が率先して取り組むこと
を促進するための、住宅リフォームや新エネ省エネ導
入助成事業など、多くの町民の理解と協力を頂きなが
ら事業が遂行されました。

一方まちの産業に目を転じますと、軽種馬の売れ行
きは少しずつ回復傾向にあります。生産コストに見
合った販売額となっていない状態が続いており、漁業
にいたっては、総漁獲高に占める割合が大きい秋サケ
において、不漁だった昨年よりも更に落ち込み、漁獲
量・漁獲高ともに過去5年平均の5割にも満たない状
態となっているなど、第一次産業は大変厳しい状況に
あります。

しかし、黒毛和種素牛・肥育牛の販売額が初めて六億
円を突破したほか、みついし牛枝肉共励会において五
嶋日出さんが出品した黒毛和牛の最優秀賞受賞や基幹
作物であるピーマンの販売高が七年連続三億円を突破
また、競馬界においてはバカバカファーム生産の
デイーブプリランテ号が、当町産駒としては18年振り
に日本ダービーを制覇するなど明るい話題も多くあり
ました。

本年におきましても、引き続き景気の低迷が懸念さ
れますが、産業振興やまちの活性化と、当町に暮らす
全ての人がキラリと光輝くまちを目指し、全力で取り
組んでまいりたいと考えておりますので、町民のみな
さんのご協力とご理解を賜りたいと思います。

結びに、町民のみなさんにとりまして、迎えられま
した新しい一年が最良の年でありますよう心から祈念
いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。